

(学校運営協議会・報告様式)

令和5年度 第6回 明生小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和6年2月16日(金) 10:00~12:00

2 場 所 明生小学校 会議室

3 あいさつ

- 今年度最後の学校運営協議会。よろしくお願いします。(委員長)
- 1年間学校に関わっていただいたことを踏まえての評価をお願いします。来年度に向けての大事な資料となる。学校では1年間のまとめの時期。6年生はもうすぐ卒業。卒業まであたたかく見守っていただきたい。

4 協議内容

(1) 学校関係者評価について

- 学校アンケートの結果を見て、コメントの追加があればいただきたい。

<ICT機器の活用>

- ・低学年でも端末を使いこなしている。
- ・端末を使わなくても学習を進めることができる場面もある。
- ・子どもが端末の使い方がわからなかったり、不具合で困っていたりしても、教えてあげられない。
- ・端末を自由に使う時間、内容について、学級でばらつきがある。学校で意思統一をしてもよいのでは。
- ・学校から持ち帰った後の端末の使用について、モラル等の指導が必要。
- ・国際教室で言葉がわからない子どもは、画像を見ることで理解ができて便利。
- ・ICTの活用に関しては、まだまだ途上にある。使い方についてアイデア等あれば教えていただきたい。

<不登校対応について>

- ・登下校の様子を見て、どうしたのかなと思うことがある。いじめが原因で学校に行きづらくなっていないか心配になる。
- ・不登校になる前に学校で早期発見し、手がうてるといい。
- ・少しでも気になる児童が出てきたら、話をした内容や子どもの様子等、記録を残しておくべき。
- ・親が相談するところがないと手遅れになる。親が悩んでいることに気づかなければならない。地域でも、隣近所で声掛けができればいい。
- ・子どもが安心して過ごせる居場所をつくってあげる。安心感のある、認め合える学級づくりに担任は取り組んでいる。ほっとルームでは、子どもが担当職員とともに安心して過ごせるように、そして、少しずつ教室へ入っていけるよう

に促していきたい。

- ・不登校になる理由は、勉強のこと、友だち関係のこと、家庭のこと・・・と個々によって違う。理由が変わっていくこともあり複雑である。
- ・子どもの様子で気になったことがあれば、負担の無い程度に声掛けをしていただきたい。また、情報があれば教えていただきたい。

<開かれた学校（学校運営協議会）について>

- ・コロナ禍で途切れた地域と学校のつなぎ役として、学校運営協議会の皆さんの力をお借りしたい。

(2) 来年度の学校支援について

○ボランティアについて

- ・ボランティアの増員をめざす。ボランティアの内容は主に低学年への学習支援、家庭科等実習の支援、朝の読み聞かせ、めいめい教室（日本語指導）での支援。
- ・めいめい教室の子どもたちが、明生校区に住んで大きくなっていきたくて思ってもらえるように、学校は楽しい、日本はいい国だなと思ってくれるように支援していきたい。

○学校運営協議会の皆さんに、学校と地域、自治会とのつなぎ役をお願いしたい。

(3) アドバイザーより

- この1年間だけではなく、明生小はずっとボランティアさんたちにお世話になっている。子どもたちにとっては、担任の先生がたくさんいるような状況。明生小の子どもたちは本当に幸せだと思う。
- 不登校になってからでは難しい。不登校をうまないように、ぜひ地域からも声掛けをお願いしたい。
- 学級づくりに関しては、低学年のうちからどのように集団づくりを行っていくかが大切。先生が子どもと子どもをどのようにしてつなげていこうとしているか、声掛けなどの働きかけの様子を見ていただけると、ボランティアとしての支援の仕方も見えてくると思う。
- どの子ども学校に来て楽しい、学校に来てよかったと思えるように居場所をつくらせてあげたい。どの子どもいきいきと過ごせるように、学校運営協議会の皆さんには、今まで通りに関わっていただきたい。

(4) 令和6年度学校運営協議会日程（予定）について

第1回	5月17日（金）	第2回	6月21日（金）
第3回	8月26日（月）	第4回	11月頃（中学校区拡大委員会）
第5回	12月6日（金）	第6回	2月14日（金）